

第5章 地域福祉活動計画



計画の見方

成果指標

計画期間をとおした、施策ごとの達成状況を把握するため、アンケート調査結果などを指標として設定しています。

私たちが取り組むこと

施策の推進に向けて、市民や団体・事業者に取り組んでいただきたいことについて記載しています。

第5章 地域福祉活動計画

施策3 相談支援体制の充実

成果指標

(団体調査) 地域課題「地域の問題や困りごとを隣近所の人と相談できない」の割合
 現状値 (R3) 目標値 (R8)
 23.2% ⇒ 10.0%

住民懇談会の意見

深めるチーム・広げるチーム両方での意見のうち、「私たちが取り組むこと」にあたる内容となるものを抜粋して記載しています。

私たちが取り組むこと

- 適切な相談支援を受けられる地域づくりを進めます。
 - ・ 地域にある相談窓口や機関を把握し、必要になったときは利用します。
 - ・ 日頃から地域のつながりを大切にし、支援を必要とする方が身近にいたときには声をかけて相談窓口へとつなぎます。

住民懇談会の意見

- ・ 自分や家族、地域の人が困っていることを、市の職員や近所の人などに話してみる。

社会福祉協議会が取り組むこと

施策の目的や成果指標の達成に向けて、社会福祉協議会が取り組むことを記載しています。

第3章の重点事業 (P44) にあたるものについては、

重点 と記載しています。

社会福祉協議会が取り組むこと

- 地域の中で誰もが必要な福祉サービス等を安心して利用できるよう、相談活動や情報提供の充実を図ります。

事業名	重点 ① 地域包括支援センター事業 (市受託事業)
事業概要	地域で暮らす高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けられるよう、住まい・介護・医療・予防・生活支援などを総合的に支えるため、関係機関との連絡調整を行います。
目標の内容	地域での活動を通して広報啓発に努めるとともに、様々な関係者と密接な連携を図っていきます。 指標 : 各種広報紙等への地域包括支援センター事業の周知に関する内容の掲載回数 現状値 (R3) 目標値 (R8) 年5回 ⇒ 年6回以上

事業名	② 各種相談事業の実施
事業概要	日常生活のあらゆる悩み事の相談に応じるため、心配ごと相談所事業や、無料法律相談 (市受託事業) を実施し、適切な助言・援助を行うことで市民の福祉の増進を図ります。
目標の内容	さらなる事業の普及や利用の促進を図るとともに、相談者が安心して利用できる環境づくりに努めます。

事業名・事業概要・目標の内容

施策に該当する具体的な事業名・事業の概要・事業ごとの目標の内容について記載しています。

指標

一部事業について、数値での指標を掲載しています。

基本目標1 地域福祉を担う人づくり

施策1 地域福祉への理解と啓発

成果指標

地域活動に取り組んでいる割合	現状値 (R3)	目標値 (R8)
	23.6%	⇒ 30.0%

私たちが取り組むこと

- **地域で行われるイベント等に興味をもち、積極的に参加します。**
 - ・ 普段から地域活動に積極的に参加している方も、普段は地域とのつながりが薄い方も、イベントなどに参加して、地域活動に関する情報を入手します。
 - ・ イベントの開催にあたっては、より多くの方に参加してもらえるよう周知に努めます。
- **地域福祉への関心を高め、情報を積極的に入手します。**
 - ・ 広報を読んだり、市役所や社会福祉協議会のチラシを読んだりして、地域活動に関する情報を入手します。
 - ・ 社会福祉協議会のホームページや、下野市市民活動支援サイト「Youがおネット」など、インターネットを活用して、積極的に情報を集めます。
 - ・ 入手した地域活動に関する情報や、参加している地域活動に関する情報について、ご近所のつながりやSNSなどで話題に出して、活動の輪を広げます。

住民懇談会の意見



- ・ 地域の人とあいさつができる関係性から、さらに一步踏み込んでイベント等に参加してみる。
- ・ 広報しもつけやしもつけ社協だよりを読む。



しもつけふくしフェスタの様子

施策2 地域福祉を支える人材の育成

成果指標

(団体調査) 地域の活動が活発でない割合 現状値 (R3) 目標値 (R8)
28.6% ⇒ 10.0%

私たちが取り組むこと

- **ボランティア活動や地域の交流、集いの場等に参加します。**
 - ・ ボランティアや地域活動のきっかけづくりとして、講座や講習会に参加します。
 - ・ ボランティアに興味をもち、ボランティアセンターで情報を入手します。
 - ・ ボランティア活動の運営にあたっては、ボランティアセンターのマッチングなどを活用し、できるだけ多くの方が参加できるよう意識します。
- **福祉教育に協力し、地域の子どもたちに福祉の心を受け継いでいきます。**
 - ・ 日頃のあいさつや声掛けを通して、地域で支え合う心を子どもたちに受け継いでいきます。
 - ・ 多世代の交流や、福祉教育のイベントに参加します。

住民懇談会の意見



- ・ 参加したい地域活動を見つけたら、周りの友人に声をかけて、一緒に参加してみる。
- ・ 自分から、どんな人が活動しているのかやどんなボランティアが行われているのか調べてみる。
- ・ ボランティアをする人が興味のあることを続けられるよう、困っていないか、声をかける。
- ・ 特技を活かしたボランティアをしてみる。
- ・ サロンに出席したり、集会に協力したりする。
- ・ あいさつの大切さを子どもたちに伝えていく。



サロンボランティア養成講座の様子

社会福祉協議会が取り組むこと

- 地域活動への参加のきっかけづくりや機会の提供、地域活動に参加しやすい環境づくりを行うことで、地域福祉を支える人材の確保・育成を図ります。

事業名	重点 ① ボランティアセンター機能の充実
事業概要	ボランティアに関する情報提供や参加の促進といった様々な支援のため、活動の相談、紹介、連絡調整、福祉教育の推進、情報提供及びボランティア保険の手続き等を行い、ボランティア活動の充実と促進を図ります。
目標の内容	<p>ボランティアに関する情報を発信するとともに、ボランティアの養成を推進し、ボランティアセンター機能のさらなる充実に努めます。</p> <p>指 標 : ボランティア登録者人数 (5か年累計)</p> <p>現状値 (H29~R3) 目標値 (R4~R8)</p> <p>9,234 人 ⇒ 9,300 人</p>

事業名	② ボランティア講座等での人材育成
事業概要	ボランティア団体等の活性化を目指し、新たな担い手として、地域で助け合い、支え合えるボランティアの人材育成を図るため、各種講座を開催します。
目標の内容	各種講座(手話、傾聴、サロン、点字及び音訳など)の内容の充実を図り、ボランティアの確保に努めます。

事業名	③ 地域ふれあいサロンの充実(市受託事業)
事業概要	地域住民やボランティアと一緒に、仲間や生きがい・交流の場をつくる地域ふれあいサロンについて、継続的支援や新規開設を促すなど、サロン活動の活性化や、地域の担い手になるボランティアの育成に努めます。
目標の内容	<p>サロン参加者やボランティア活動者の確保に努め、健康の維持増進と事業内容の充実を図れるよう支援します。</p> <p>指 標 : 地域ふれあいサロン新設数</p> <p>目標値 (R8)</p> <p>年間3か所以上</p>

事業名	④ ふくし移動講座の開催
事業概要	身近な地域や学校・企業等を対象に、地域福祉の理解や関心を高めるために福祉学習プログラムを提供します。
目標の内容	福祉への理解を深めてもらうため、講座内容の充実と周知に努め、福祉教育を推進します。 <div style="border: 1px solid gray; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">指 標 : 移動講座延べ開催回数</p> <p style="text-align: center;">現状値 (R3) 目標値 (R8)</p> <p style="text-align: center;">年 43 回 ⇒ 年 50 回以上</p> </div>

事業名	⑤ 親子ふれあい事業
事業概要	親子一緒に福祉を学び、思いやりの心を育てることを目的に、福祉に関するイベントを開催します。
目標の内容	親子で様々な体験をしながら、福祉について学ぶ機会を提供することで、関心を高めます。

事業名	⑥ 児童生徒への福祉活動費助成事業
事業概要	市立学校と高等学校を対象に、福祉・ボランティア活動のための費用を助成し、ボランティア活動の促進や福祉教育の推進を図ります。
目標の内容	児童・生徒の福祉への理解と関心を高め『思いやりの心』『ともに生きていく心』を育みながら、福祉教育の充実を図ります。

事業名	⑦ ジュニアふくし体験
事業概要	次世代を担う小学校及び義務教育学校の4・5・6学年を対象に、福祉やボランティア活動への関心をもてるよう、様々な体験や学ぶ機会を提供します。
目標の内容	関係機関と連携し、子どもたちが福祉について興味をもち、さらに理解が深められるよう、体験内容の充実を図ります。

事業名	⑧ 災害ボランティア養成講座
事業概要	災害時におけるボランティア活動の基礎的な知識と役割を学び、災害ボランティアについて理解を深め、地域での災害時に備え、助け合いの意識を高めることを目的に開催します。
目標の内容	ボランティア活動者の確保と育成に努めます。 <div style="border: 1px solid gray; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">指 標 : 養成講座受講者数 (5か年累計)</p> <p style="text-align: center;">現状値 (H29~R3) 目標値 (R4~R8)</p> <p style="text-align: center;">107 人 ⇒ 150 人以上</p> </div>

施策3 支え合い助け合いの気持ちの啓発

成果指標

地域の人々が助け合いや支え合いに積極的だと思う割合

現状値 (R3) 目標値 (R8)
35.3% ⇒ 45.0%

私たちが取り組むこと

- 寄附等の支え合い活動に参加します。
 - ・ 私たちの住む地域が暮らしやすくなるよう、一人ひとりが助け合う気持ちを持ちます。

社会福祉協議会が取り組むこと

- 募金運動等の実施により、支え合い助け合いの気持ちを啓発します。

事業名	① 赤い羽根共同募金運動 ^(※) の実施
事業概要	地域福祉事業を展開するため、各世帯を対象にした戸別募金や法人・事業所の募金、街頭募金、学校募金及び職域募金など幅広く実施します。
目標の内容	各募金活動及び百貨店プロジェクト事業等の推進を図り、地域福祉活動・事業の財源に活用するとともに、事業内容のさらなる充実を図ります。



赤い羽根共同募金運動の様子

※ 赤い羽根共同募金運動

戦後、民間の社会福祉施設などで行われていた募金活動を社会福祉法に規定し制度化したもので、現在ではさまざまな地域福祉の課題解決に取り組む民間団体の支援に用いられる。

基本目標2 支え合いの輪が広がる地域づくり

施策1 地域住民の交流促進

成果指標

(団体調査) 地域課題「隣近所との交流が少ない」の割合

現状値 (R3) 目標値 (R8)
41.1% ⇒ 30.0%

私たちが取り組むこと

- **地域の方向士で交流する機会に参加します。**
 - ・ 地域の人々が顔を合わせる催し物や地元のおまつり、伝統行事などに参加し、親睦を深めます。
- **障がい者や高齢者等と交流する機会に参加します。**
 - ・ 障がい者や高齢者との交流を通して、理解を深めるとともに、誰もが同じ地域の仲間として個性を発揮しながら活躍できる地域づくりを進めます。

住民懇談会の意見



- ・ 若者と地域がつながるイベントについて、SNSで広報してつながりを広げていく。
- ・ ラジオ体操などの地域のコミュニティに友達と参加してみる。

社会福祉協議会が取り組むこと

- 地域の多様な住民の交流に向けて、誰もが参加できる機会を創出します。

事業名	① ふれあいふくし運動会（市共催事業）
事業概要	子どもや高齢者、障がい者がともにスポーツ活動に参加することで、健康を維持し親睦や交流を深められるよう、民生委員・児童委員の協力を得て「ふれあいふくし運動会」を開催します。
目標の内容	関係機関と連携し事業内容のさらなる充実や、参加団体の拡大を図ります。

事業名	② 障がい児者交流事業
事業概要	障がい児者とその家族を対象に、民生委員・児童委員やボランティアの協力を得ながら、レクリエーションやゲーム等を通じて交流と親睦を深めることを目的に実施します。
目標の内容	障がいのある方たちの情報交換や交流の場を提供するため、内容の充実を図ります。

事業名	③ 花まつり招待事業（市観光協会共催）
事業概要	民生委員・児童委員や花まつり出店会の協力を得て、市内の福祉施設利用者を天平の花まつり [※] に招待し、地域との交流と親睦を図ります。
目標の内容	市観光協会と連携し、事業内容のさらなる充実を図ります。



障がい児者交流事業の様子

※ 天平の花まつり

天平の丘公園内の花広場を中心とした花まつりで、下野市春の風物詩。淡墨桜をはじめ、八重桜、山桜、枝垂桜と多種多様の桜があり、長期間に渡り桜の花を楽しむことができる。

施策2 地域福祉活動の支援

成果指標

(団体調査) 他の団体や機関と交流や連携、協力関係がある割合

現状値 (R3)			
社会福祉協議会	58.9%	老人クラブ	33.9%
ボランティア団体	35.7%		

目標値 (R8)
左記の3種で
いずれも増加

私たちが取り組むこと

- 地区社協の活動に興味をもち、参加します。
 - ・ コミュニティづくり、イベントの開催及び地域防災体制のつなぎ役など、多様な役割を担って地域に貢献する地区社協の活動に興味をもち、活動に参加します。

住民懇談会の意見



- ・ 地域活動を行う組織づくりに参画する。



地区社協活動の様子 (東方台地地区 七夕飾り交流)

社会福祉協議会が取り組むこと

- 団体等への支援を通して、市民の主体的な活動による地域コミュニティの形成を促進します。

事業名	重点 ① 地区社協組織整備
事業概要	住民参加による地域福祉活動を通して、地域のふれあいを高めながら自分たちの住む地域の福祉課題を「住民同士の助け合い」によって解決していけるよう福祉コミュニティづくりを推進します。
目標の内容	<p>地域コミュニティ推進協議会^(※)を地区社協として位置づけ、市と連携しながら地区社協の組織整備に努めます。また、地区社協を活用した三世代の交流を促し、地域住民の支え合いの輪が広がる地域づくりを促します。</p> <p style="text-align: center;">指 標 : 地区社協設置数 現状値 (R3) 目標値 (R8) 3か所 ⇒ 6か所以上</p>

事業名	② 福祉団体への支援
事業概要	老人クラブ連合会、身体障害者福祉会、ボランティア連絡協議会、心身障害児者父母の会、ひとり親福祉会及び遺族会への活動支援を行います。
目標の内容	各福祉団体の活性化を図るため、市や関係機関と連携しながら、自主運営のサポートや新規会員の加入促進を支援します。

※ 地域コミュニティ推進協議会

地域内の各種団体の連携や、地域住民の地域活動への自主的な参加を促進し、豊かで心ふれあう、快適で住みよい地域づくりを進めることを目的とする組織。市自治基本条例に基づき、コミュニティ組織の活動支援を行っている。

施策3 誰もが安心して暮らしやすい環境の整備

成果指標

(団体調査) 地域の課題「災害時、緊急時の協力体制ができていない」割合

現状値 (R3) 21.4% 目標値 (R8) ⇒ 10.0%

私たちが取り組むこと

- **子どもたちが安心して暮らせる環境づくりに協力します。**
 - ・ 通学路の見守りや安全運転など、子どもたちが安心して暮らせる環境づくりを心がけます。
- **防災に関心をもち、地域でどのような備えが必要なのか考えます。**
 - ・ ハザードマップ (58 ページ) や避難所の確認、日頃の備蓄など災害への備えを行います。
 - ・ 地域でいざというときに助けが必要な人を把握します。
 - ・ 地域の避難訓練などに参加し、災害時に助け合えるよう準備を行います。

住民懇談会の意見



- ・ 地域の困りごとを引き受ける便利屋のような活動に参加してみる。
- ・ あいさつや簡単な会話など、子どもへの声掛けをする。
- ・ 常に防災を心がける。

社会福祉協議会が取り組むこと

- 高齢者への支援や児童の見守り、災害対策の体制づくり等を通して、安心して暮らしやすい環境を整備します。

事業名	重点 ① 生活支援体制整備事業（市受託事業）
事業概要	高齢者が地域の中で生き生きとした生活ができるよう、健康づくり及び介護予防に必要なサービスを地域で提供できる体制の基盤づくり並びにネットワークづくりを行い、市民が主体となり地域福祉活動が展開できるよう、行政・関係機関との連携を図りながら、事業体制の整備に向けた取組を行います。
目標の内容	地域の社会資源を活用、開発できるように市や関係機関との連絡調整を行いながら、円滑な事業実施を図ります。 指 標 : 各種広報紙等への制度の周知に関する内容の掲載回数 現状値 (R3) 目標値 (R8) 年4回 ⇒ 年6回以上

事業名	② 災害ボランティアセンター設置・運営のための支援体制づくり
事業概要	災害発生時に行政、関係機関及び地域ボランティアと連携し、被災地のニーズの把握やボランティアの受け入れ、調整などを行う災害ボランティアセンターの設置・運営を行うことで、迅速かつ十分な災害時支援に取り組める支援体制を整えます。
目標の内容	災害時対応や災害ボランティアセンター設置・運営が適切に実践できるよう、継続的な訓練の実施と、「災害時対応マニュアル」の定期的な見直しを行います。

事業名	③ 登下校時等における子どもたちの見守り活動
事業概要	児童の交通安全や犯罪防止活動の一環として、関係機関・団体と連携し、地域ぐるみの通学路等の見守り活動を推進します。
目標の内容	ボランティア団体や活動者の増加に努め、地域ぐるみの見守り活動の推進を図ります。 指 標 : 延べ活動人数（5か年累計） 現状値 (H29～R3) 目標値 (R4～R8) 35,063 人 ⇒ 37,000 人

事業名	④ 安全帽子の購入費助成事業
事業概要	市立小学校の新一年生を対象に、児童の交通安全、事故防止を目的として、学校指定の安全帽子購入費の助成を行います。
目標の内容	将来を担う子どもたちの交通安全対策と健全育成を推進します。

基本目標3 地域共生社会を実現する仕組みづくり

施策1 福祉サービスの提供と充実

成果指標

子どもや高齢者、障がいのある人などにとって暮らしやすいまちだと思う割合	現状値 (R3)	目標値 (R8)
	57.7%	⇒ 70.0%

私たちが取り組むこと

- **どのような福祉サービスがあるか興味をもちます。**
 - ・ 必要な福祉サービスの利用につながるよう、地域にどのような福祉サービスがあるのかを知り、困っている人の相談にのり、関係者や関係機関を紹介します。
- **年齢や障がいの有無に関わらず活躍できる地域づくりを進めます。**
 - ・ 子どもや高齢者、障がい者と一緒に活動する機会に参加します。
 - ・ 地域のつながりの中に色々な人が参加しやすいよう、理解を深めます。
- **健康づくりに興味をもち、講座等に参加します。**
 - ・ 定期的に健康診断を受け、自分の健康状態を確認しておきます。
 - ・ 健康づくりに関心をもち、講演会や健康講座、体を動かすイベントなどに参加します。

住民懇談会の意見



- ・ 自分の祖母、祖父の基礎疾患や心身の健康状態を把握しておき、いざというときの対応を話し合っておく。
- ・ デマンド交通の予約のお手伝いをする。
- ・ 自分でもデマンド交通を利用してみて、感想や思ったことを発信する。
- ・ 外出できない人の話し相手になる。
- ・ 車いすの利用の仕方や、高齢者や障がい者への配慮について勉強会に参加する。自分で体験すると、気付くことが多くある。
- ・ 健康づくりの第一歩として、地域のラジオ体操やサロンに参加してみる。

社会福祉協議会が取り組むこと

- 地域住民が適切な福祉サービスの利用、活動へ参加ができるようサービスの提供体制づくりを推進します。

事業名	① 居宅介護支援事業（ケアプランセンター）
事業概要	介護が必要な高齢者が、住み慣れた地域での生活を継続できるよう支援します。ケアプラン ^(※1) を作成し必要な介護サービスを提供できるよう調整します。
目標の内容	一人ひとりのニーズに応じたサービスを提供できるよう、地域や関係機関と連携します。

事業名	② 通所介護事業（デイサービスセンターのぞみ）
事業概要	介護保険制度に基づき、要介護者・総合事業対象者に心身の状態に応じた日常生活上の介助・支援を行います。
目標の内容	利用者同士が交流しながら入浴・適度な体操・レクリエーションにより、身体機能の維持ができるように支援し、家族の介護負担の軽減を図ります。

事業名	③ 就労継続支援 B 型事業なのはな・すみれ
事業概要	心身の障がいにより一般就労することが困難な在宅の障がい者に通所による生活・作業訓練を行い、創作活動や生産活動の機会の提供及び社会との交流や地域生活支援の促進を図ります。
目標の内容	利用者一人ひとりが意欲と達成感を感じられるよう支援を行うとともに、利用者の拡充に努めます。

事業名	④ 下野市社協特定相談支援事業所
事業概要	利用者及びその家族に面接を行い、おかれている状況、利用者が希望する生活及び解決すべき課題などを把握し、サービス利用支援（サービス等利用計画案の作成）、継続サービス利用支援（モニタリング）を行います。
目標の内容	利用者のニーズに沿った計画を作成し、充実した生活を送れるよう努めます。

事業名	⑤ ふれあいサロンゆうゆう事業（市受託事業）
事業概要	高齢者が介護を必要とする状態になることを予防し、健康で生き生きとした生活が送れるよう支援します。
目標の内容	サロン活動を通して参加者が交流を深める機会を提供し、健康づくりや仲間づくりを支援します。

事業名	⑥ 手押し車の購入費助成事業
事業概要	高齢者の方で足腰の衰え等により歩行に不安がある方を対象として、歩行の補助具として使用する手押し車の購入費の一部を助成します。
目標の内容	手押し車を使用することで歩行の安定、転倒予防や外出のきっかけづくり、介護予防を図ります。

事業名	⑦ 福祉用具等の貸出し事業
事業概要	福祉用具やイベント用具を自治会・育成会等に貸出します。
目標の内容	市民の自治会・育成会等へのイベント参加の促進、福祉への理解・関心を深め事業の普及、推進を図ります。

事業名	⑧ 幅広い介護予防事業の推進（市受託事業）
事業概要	各地域包括支援センターと連携し、介護予防の一環として、高齢者等を対象にフレイル ^(※2) 予防の普及啓発、運動・栄養・口腔・認知症サポーター養成講座等の介護予防講座を地域に出向き開催します。
目標の内容	<p>介護予防に関わる人材・地域活動組織の育成、支援等を実施し、介護予防の重要性の普及啓発を行い、地域ぐるみで介護予防の推進を目指します。</p> <div style="border: 1px solid gray; background-color: #f0f0f0; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>指 標 : 介護予防講座受講者数 (5か年累計)</p> <p>現状値 (H29~R3) 目標値 (R4~R8)</p> <p style="text-align: center;">2,574 人 ⇒ 3,000 人</p> </div>



ふれあいサロンゆうゆう事業の様子

※1 ケアプラン

要介護・要支援に認定された本人や家族の希望に添った介護サービスを適切に利用できるような、本人や家族の心身の状況や生活の環境等に配慮し、利用する介護サービスの種類や内容を定めた「介護サービスの利用計画」のこと。

※2 フレイル

「虚弱」を意味する言葉で、加齢にともない心身の機能が低下した、「健康」と「介護」の間にある状態のこと。

施策2 支援を必要とする人へのサービスの充実

成果指標

保健福祉施策（サービス）が充実していると思う割合

現状値（R3） 目標値（R8）
29.4% ⇒ 40.0%

私たちが取り組むこと

- **生活困窮者の自立支援に地域で協力します。**
 - ・ 困っている人に声をかけて、民生委員・児童委員など身近な支援機関へとつなぎます。
 - ・ どのような支援制度があり、支援を必要とする人をどのような支援につなぐことができるか、関心をもって情報を入手します。
 - ・ フードドライブ^{※3}や、困っている人を支える活動など、できることから参加します。
- **成年後見制度や権利擁護の取組について、理解を深めます。**
 - ・ 成年後見制度や権利擁護の取組について調べます。
 - ・ 自分や家族の判断能力が不十分になったときの対応について、身近な人と話し合います。

社会福祉協議会が取り組むこと

- **誰もが必要な福祉サービス等を安心して利用できるよう、きめ細かい支援体制の充実を図ります。**

事業名	重点 ① 生活困窮者自立相談支援事業（市受託事業） （愛称：くらし応援センターささえーる）
事業概要	複合的な課題を抱える生活困窮者の相談を受け、どのような支援が必要かを相談者と一緒に考え、寄り添いながら自立に向けたオーダーメイドの支援を行います。様々な関係機関と協働し、相談者支援を通じた地域づくりを行います。
目標の内容	生活困窮者の自立の促進を目指し支援します。 指 標：各種広報紙等への制度の周知に関する内容の掲載回数 現状値（R3） 目標値（R8） 未掲載 ⇒ 年2回以上

※3 フードドライブ

家庭などで食べきれずに、余った食料品等を集め、支援を必要とする世帯や団体などに配布する取組。

事業名	② 家計改善支援事業（市受託事業）
事業概要	家計に問題を抱える生活困窮者からの相談に応じ、家計に関するアセスメント [※] を行い、家計の状況を「見える化」し、家計再生の計画や家計に関する個別のプランを作成することで、利用者の家計管理の意欲を引き出します。 家計管理に関する支援、滞納の解消や各種給付制度等の利用に向けた支援、債務整理に関する支援、貸付のあっせんなどを行います。
目標の内容	家計相談により、生活困窮者の自立の促進を目指し支援します。

事業名	③ 就労準備支援事業（市受託事業）【新規】
事業概要	「社会との関わりに不安がある」、「他の人とコミュニケーションがうまくとれない」など、直ちに就労が困難な方に6か月から1年の間、プログラムに沿って、一般就労に向けた基礎能力を養いながら就労に向けた支援や就労機会の提供を行います。
目標の内容	就労準備支援により、生活困窮者の自立の促進を目指し支援します。

事業名	④ 住居確保給付金に関する相談・受付業務（市受託事業）
事業概要	離職により住居を失ったまたはそのおそれが高い生活困窮者であって、収入等が一定水準以下の者に対して、有期で家賃相当額を支給する事業の相談・受付業務を行います。
目標の内容	住居確保給付金により、生活困窮者の自立の促進を目指し支援します。

事業名	⑤ 生活福祉資金貸付事業（県社会福祉協議会受託事業）
事業概要	低所得者世帯等の経済的自立と生活意欲の向上を支援するため、総合支援資金、福祉資金、教育支援資金、不動産担保型生活資金の貸付を行います。
目標の内容	生活困窮者の自立の促進を目指し支援します。

事業名	⑥ 小口資金貸付事業
事業概要	緊急に生計の維持が困難になった市内の世帯に対し、小口資金（上限3万円）を貸し付けることにより、経済的自立及び生活の安定を目指した支援を行います。
目標の内容	生活困窮者の自立の促進を目指し支援します。

※ アセスメント

悩みがある方に寄り添って、相談者の抱える課題を評価・分析し、解決の方向を見定めていくこと。

事業名	⑦ 緊急食料等給付事業
事業概要	市内に居住する生活困窮者等が、緊急的かつ一時的に生計の維持が困難になった場合に、食料等の生活に必要な現物を給付し、生命の安全と生活の再建を支援します。
目標の内容	自立相談支援事業と連携し、生活困窮者の自立の促進を目指し支援します。

事業名	⑧ 成年後見制度法人後見支援事業（市受託事業）
事業概要	成年後見制度に関する啓発活動や相談に応じ、地域で安心した生活が継続できるよう、本人の意思を尊重した権利擁護支援の促進及び地域連携の構築を図ります。
目標の内容	成年後見制度について市民に広く周知し、安心した生活を継続できるよう支援します。

事業名	⑨ 法人後見事業
事業概要	認知症高齢者や障がい者等で判断能力が不十分な方の権利を守り、地域で安心して生活できるようにするため、法人として社会福祉協議会が成年後見人等を受任します。
目標の内容	対象者の権利を守るため財産管理や身上保護を行うことで、安心した生活を継続できるよう支援します。

事業名	⑩ 日常生活自立支援事業（あすてらす）
事業概要	高齢・障がい等により判断能力が十分でない方に対して、福祉サービスの利用において不利益が生じないように、情報提供や手続きのサポートをすることにより地域での安心した生活を支援します。また、福祉サービスの利用に伴う日常的な金銭管理や書類等の預かりサービスを行います。
目標の内容	関係機関と連携し事業の普及や利用の促進を図ります。

施策3 相談支援体制の充実

成果指標

（団体調査）地域課題「地域の問題や困りごとを隣近所の人と相談できない」の割合

現状値（R3） 目標値（R8）
23.2% ⇒ 10.0%

私たちが取り組むこと

- 適切な相談支援を受けられる地域づくりを進めます。
 - ・ 地域にある相談窓口や機関を把握し、必要になったときは利用します。
 - ・ 日頃から地域のつながりを大切にし、支援を必要とする方が身近にいたときには声をかけて相談窓口へとつなぎます。

住民懇談会の意見



- ・ 自分や家族、地域の人が困っていることを、市の職員や近所の人などに話してみる。

社会福祉協議会が取り組むこと

- 地域の中で誰もが必要な福祉サービス等を安心して利用できるよう、相談活動や情報提供の充実を図ります。

事業名	重点 ① 地域包括支援センター事業（市受託事業）
事業概要	地域で暮らす高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けられるよう、住まい・介護・医療・予防・生活支援などを総合的に支えるため、関係機関との連絡調整を行います。
目標の内容	地域での活動を通して広報啓発に努めるとともに、様々な関係者と密接な連携を図っていきます。 指 標 ：各種広報紙等への地域包括支援センター事業の周知に関する内容の掲載回数 現状値（R3） 目標値（R8） 年5回 ⇒ 年6回以上
事業名	② 各種相談事業の実施
事業概要	日常生活のあらゆる悩み事の相談に応じるため、心配ごと相談所事業や、無料法律相談（市受託事業）を実施し、適切な助言・援助を行うことで市民の福祉の増進を図ります。
目標の内容	さらなる事業の普及や利用の促進を図るとともに、相談者が安心して利用できる環境づくりに努めます。